

# 下肢静脈瘤とその治療



心臓血管外科専門医  
下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医  
循環器専門医

達 和人 (たつ かずひと)

「最近足が重く感じる」「足の血管が浮き出て目立つようになった」などの足の変化に、お心当たりはありませんか？

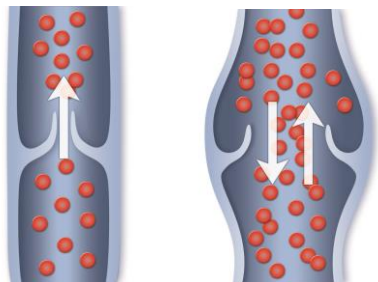
このような足に関するお悩みは、もしかしたら下肢静脈瘤かもしれません。

当院では2022年1月より下肢静脈瘤に対し、高周波アブレーションを開始します。

## 下肢静脈瘤とは？

足の静脈が蛇行し浮き出たものを下肢静脈瘤といいます。足の静脈内を流れる血液は、心臓や肺に戻るためには、重力に抗して上に向かって流れなくてはなりません。そのため足の静脈には逆流防止弁がたくさんあります。この弁が壊れてしまい、血液が下へ逆流するようになり、血管内に血液が滞ることで血管が膨れたものが下肢静脈瘤です。

妊娠を経験された女性の方や、立ち仕事の方（調理師・理容師・デパートの店員さんなど）高齢者がなりやすいと言われておりますが、若い男性の方でも発症されることがあります。下肢静脈瘤は軽いもの（蜘蛛の巣血管）から重症なもの（皮膚潰瘍）まで様々な段階があります。



正常な静脈弁 壊れた静脈弁（弁不全）



下肢静脈瘤のタイプ

伏在型 くもの巣状



色素沈着 皮膚潰瘍

## 下肢静脈瘤はどのような症状？

下肢静脈瘤の症状は、ほとんどがふくらはぎに起こります。また午後から夕方に症状が強くなるのも特徴です。以下が主な症状です。

- ・足が疲れやすい、重だるい
- ・こむらえり（足がつる）
- ・足の血管がぼこぼこしてきて見た目が悪い
- ・むくみ かゆみ 熱感がある
- ・足の血管に沿ってちくちく痛む
- ・足の肌の色が茶色や黒く変色
- ・足の傷が治りにくい



## 診断はどのようにおこなわれますか？

診断は超音波検査（エコー検査）にて行います。痛みもなく体に負担の少ない検査です。超音波検査での結果もふまえ、症状がありお困りの方には治療をおすすめします。

治療には大きく分けて、手術（静脈瘤除去切除術、ストリッピング術）と血管内治療があります。どちらの治療も一長一短があり、個々の患者さんと充分お話ししながら治療方法を決定していきます。

## 1月より開始する高周波アブレーション治療の適応とその方法について

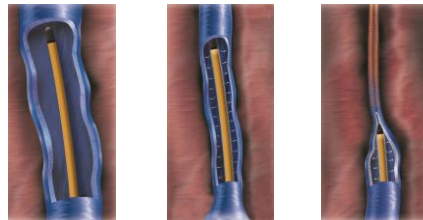


## 高周波アブレーション（ラジオ波）治療とは？

下肢静脈瘤に対する血管内治療はレーザー治療とラジオ波治療があります。どちらも熱により、悪くなって機能していない血管を焼き潰すもので、レーザーもラジオ波も基本的に同じ治療と言えます。

当院では高周波アブレーション（ラジオ波）治療を採用し2022年1月より治療開始予定です。血管内治療は体の負担が少なく、とても良い治療であります手術にはない合併症もあります。

### 高周波エネルギーの伝達／治療



カテーテルを静脈に挿入する 静脈を加熱し収縮させる カテーテルを引き抜き静脈を閉塞させる

## 治療時に気を付けることはありませんか？

血管内治療は体の負担が少なく、とても良い治療であります手術にはない合併症が起こる可能性もあります。手術の場合、悪くなった血管をすっきりと抜き去ってしまうので、血管に逆流が起きる再発例は少ないのですが、高周波

アブレーションの場合、頻度は少ないのですが深部静脈血栓症（いわゆるエコノミークラス症候群）が術後起きていないか、あるいは焼き潰した血管に逆流が再発していないか等、術後に細かく通院（術後1週間、1ヶ月、3か月）していただく必要があります。

当院は、下肢静脈瘤の血管内焼灼術に対して優れた医学知識と高度医療機器を備えた施設であるとして、「下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設」として認定を受けました。個々の患者さんの静脈瘤の状態、ライフスタイル、ご希望をよく考慮しながら、手術とラジオ波治療のどちらがいいのかお話ししていきます。

「心臓血管外科」（外来日：月・木・金）もしくは

042-710-4100 までお問い合わせ下さい。

